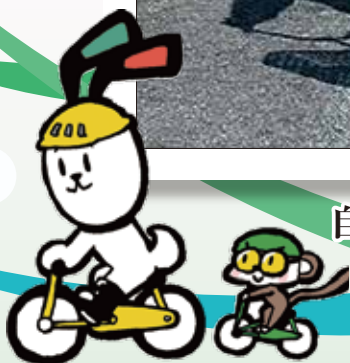


# かながわの交通

2024  
5月号

交通安全年間スローガン受賞作品 (全日本交通安全協会会長賞)  
一般部門: 歩行者・自転車利用者に呼びかけるもの

## 自転車も 歩行者優先 安全走行



自分の命は自分で守る! 自転車はヘルメットを忘れずに!

写真提供: 神奈川県警察本部交通総務課



### 道路横断には気をつけて!

高齢歩行者の事故が増えています。

**油断大敵!** 運転者も歩行者もルールを守って  
交通事故防止に努めましょう!

歩行者  
事故  
多発!

◎県内の交通事故発生概況 (令和6年4月末現在) ◎県人口・運転免許人口

年別	区分	発生件数	死者数	負傷者数		総数	男	女
令和6年		6,715	32	7,786	県人口	9,218,071	4,567,488	4,650,583
令和5年		7,012	35	8,271	免許人口	5,679,753	3,213,490	2,466,263
増減数		-297	-3	-485	割合	1.6人に1人	1.4人に1人	1.8人に1人
増減率		-4.2%	-8.6%	-5.9%				



ホームページ

(県人口は令和6年4月1日、免許人口は令和6年3月末現在)

## 二輪車交通事故防止及び暴走族追放強化月間について

### ◎ 期間

令和6年6月1日(土)～6月30日(日)の1か月間

### ◎ 目的

多発する二輪車の交通事故を防止するため、二輪運転者の交通安全意識を高める運動を県民総ぐるみで展開するとともに、暴走族(四輪を含む)追放気運を醸成して暴走族加入防止と離脱の促進を図ります。

### ◎ スローガン

- ◇ 運転に ゆとり やさしさ 思いやり
- ◇ 暴走は しない させない ゆるさない!

### ◎ 重点

- 二輪車の安全利用推進
- 暴走族の追放



写真提供：津久井交通安全協会

☆ 二輪車は、自分に合ったヘルメット、プロテクターやエアバックジャケット等を着用し、速度を抑制した防衛運転を心がけましょう。

## 5月中! 自転車マナーアップ強化月間実施中です

### ◎ スローガン

- ◇ 自転車も のれば車の なかまいり

### ◎ 期間

令和6年5月1日(水)～5月31日(金)の1か月間



### 自転車安全利用五則

- |                            |            |
|----------------------------|------------|
| 1 車道が原則、左側を通行 歩道は例外、歩行者を優先 | 4 飲酒運転は禁止  |
| 2 交差点では信号と一時停止を守って、安全確認    | 5 ヘルメットを着用 |
| 3 夜間はライトを点灯                |            |

～お父さん、お母さんもヘルメットをかぶりましょう～



子供さんが自転車で出かける際は「交通安全のひとこえ・ヘルメットの着用確認」をお願いします～

### ～令和6年度「自転車交通事故多発地域の指定」～

神奈川県交通安全対策協議会(会長:黒岩県知事)は、令和5年中の自転車交通事故件数の割合(構成率)が県内平均(24.9%)より3ポイント以上高いか、自転車交通事故死者数が2人以上のいずれかに該当する計18地域を5月1日付けで「自転車交通事故多発地域」に指定し、自転車事故防止対策の一層の推進を図ることとしました。

	指定地域 18 地域
横浜市	鶴見区、金沢区、瀬谷区(3区)
川崎市	中原区、川崎区、幸区、多摩区、高津区、麻生区(6区)
相模原市	南区、中央区、(2区)
その他市部	茅ヶ崎市、平塚市、大和市、藤沢市(4市)
その他市部	寒川町、開成町(2町)
死者数2人以上	横浜市戸塚区、川崎市川崎区(重複)

## 「春の全国交通安全運動」実施結果

春の全国交通安全運動が4月6日(土)から4月15日(月)までの10日間行われ、4月5日には横浜市中区「赤レンガパーク」で運動の出発式が行われました。



「パトカー部隊の出発の様子」



「白バイ部隊の出発の様子」

期間中の交通事故の発生状況については、事故発生件数、負傷者数は前年の同時期と比べ減少しましたが、交通死亡事故は1件発生しました。

◇ 期間中累計の交通事故発生概況

4月9日(火) 箱根町(箱根新道)において軽自動車(死亡者、52歳、男性)が大型貨物車に正面衝突

	発生件数(件)	死者数(人)	傷者数(人)
期間中累計 (前年同期比)	526 (-81)	1 (±0)	604 (-113)

### 〈運動期間中の各地区交通安全協会の活動〉

地元警察署等と連携した交通安全キャンペーン等において交通事故防止を呼びかけました。



山手交通安全協会  
イオン本牧店前におけるキャンペーン



加賀町・横浜水上・伊勢佐木・山手合同  
桜木町駅前におけるキャンペーン



金沢交通安全協会  
イオン金沢八景店前における交通事故死ゼロキャンペーン



川崎交通安全協会  
川崎駅前におけるキャンペーン



伊勢佐木交通安全協会  
伊勢佐木モール有隣堂前でのキャンペーン



川崎臨港交通安全協会  
川崎大師祈禱殿における安全祈禱

## 第52回交通安全こども自転車神奈川県大会参加チーム募集中

「交通安全こども自転車神奈川県大会」への積極的な参加をお願いします。  
自転車の安全な乗り方を学びましょう！

- 開催日時  
令和6年6月22(土)午前9時30分から(受付9:00~)
- 場 所  
神奈川県高座郡寒川町宮山275番地 寒川総合体育館
- 申し込み先  
〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-12-15  
(公財)神奈川県交通安全協会  
TEL 045-478-0166 FAX 045-475-5524
- 締め切り  
令和6年5月31日(金)

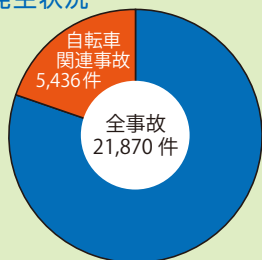


「県大会で優勝して全国に行こう！」

### 県内自転車関連事故の発生状況について(令和5年)

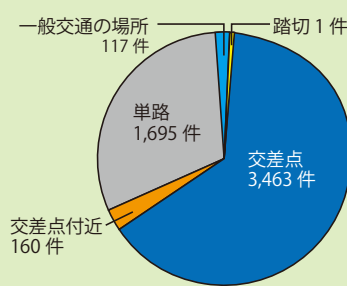
自転車は、大人から子どもまで免許のいらない手軽な交通手段として活用されていますが、ちょっとした不注意や、決められたルールを守らないと交通事故の加害者となったり被害者になったりすることがあります。一人ひとりが交通ルールを守って安全な運転をお願いします。

自転車関連事故発生状況



自転車事故は全事故の **24.9%** を占めます

道路形状別衝突地点



交差点内の事故が全体の **63.7%** を占めます

◎ 交差点内の事故が増えています。進路変更時には後続車等に手信号による右左折等の意思表示をしましょう。



○右折、右へ進路変更  
右へ転回するときの合図



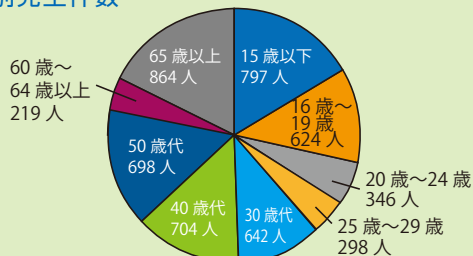
○左折、左へ進路変更する  
ときの合図



○徐行・停止  
するときの合図

☆道路交通法第53条(合図の義務・罰則 5万円以下の罰金、過失も同じ)☆

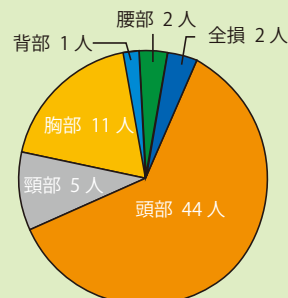
年齢層別発生件数



65歳以上の高齢者が全体の **15.9%** を占めます

損傷部位別死者数

過去5年65人



致命傷は頭部損傷で **67.7%** を占めます。

☆ 自転車乗車用ヘルメットの着用は全ての自転車利用者に対して努力義務化されています！  
自分の身を守るために自転車乗車用ヘルメットをかぶりましょう！

## 令和6年使用「交通安全ポスターデザイン」入選作品(神奈川県)

全日本交通安全協会が毎日新聞社との共催により実施した令和6年使用「交通安全ポスターデザイン」については全国から2,335点の応募があり、神奈川県では、イラストレーター 伊藤 文人さんが、一般部門 A 全日本交通安全協会会長賞を受賞しました。



## 第26回セーフティ・チャレンジ・かながわ 無事故・無違反コンクール

### ● 申込期間

2024年4月16日(火)～6月28日(金)まで専用の参加申込書に記入後、郵便局から郵便振替で申し込み下さい。

※注意 在宅勤務等で期日までに申込書の提出が難しい場合は、自動車安全運転センター神奈川県事務所にご相談ください。

電話 045-364-7000(代表) 音声案内2番

### ● コンクール期間(無事故・無違反チャレンジ期間)

2024年7月1日(月)～12月31日(火)

### ● 参加資格

◇ 神奈川県内に在住・在勤・在学または仕事等のため、県内で自動車等を運転する方3人一組で構成するチーム

◇ チーム員の全員(3人とも)が各都道府県公安委員会の自動車運転免許(国際免許を除く)を受けていること。

### ● 無事故・無違反チームの確認

・ 無事故・無違反の確認は、コンクール期間終了後に、自動車安全運転センターが発行する「運転記録証明書」により行います。

・ 参加者の「運転記録証明書」は、自動車安全運転センター神奈川県事務所から、2025年2月下旬頃に、参加申込書に記載された送付先に発送します。

1年間以上無事故・無違反の方には、SDカード(無事故・無違反の証)も一緒に送付します。

### ● 参加手数料

・ 1チーム2,010円(「運転記録証明書」発行手数料3人分(1人670円)の実費)

### ● 抽選 無事故・無違反を達成したチームの中から、抽選により賞品をお贈りします。

2025年3月3日(月)に、県のホームページで発表(予定)

### 特賞 30万円分の金券(1チーム)

**1等** 15万円分の金券(3チーム)      **2等** 6万円分の金券(5チーム)

**3等** 3万円分の金券(15チーム)      **4等** 15,000円分の金券(20チーム)

**5等** 6,000円分の金券(50チーム)      **6等** 3,000円分の金券(200チーム)

※今回から参加チームにシルバーチームの区分は設けないこととしました。

※これまで設けていたシルバー特別賞のかわりに賞品の区分をこれまでの特賞～5等から、特賞～6等に増やしました。



## 交通事故の悲劇に学ぶ 124

### ●「償いへの道」 K.S 会社員 (20代)

私は車を走る凶器に変え、私とは無関係な罪のない人を事件に巻き込み殺してしまいました。

私はある年の11月、仲の良い友人と夕食に出かけました。

はじめは夕食を終えたら帰るつもりでしたが、急遽、翌日の仕事が休みになったことから、よく集まる友人たちに連絡して遊びに行くことになりました。

普段から集合場所に行っている行きつけの店に集まり、明日は休みという安心感から、時間を気にすることなく遊んでいました。

そして、深夜になり、日付も変わったことから、帰り道が同じ友人を乗せ、一緒に帰ることにしました。

これまで何度か友人宅まで送り迎えをしていたので、走り慣れた道だという安心感と深夜という油断もあって注意散漫な運転になっていました。

途中で雨が降りだし、友人宅まで後わずかな所まで来たところで、友人が「コンビニに寄れたりする？」と聞いてきました。ちょうど私もコンビニに行きたいと思っていたので友人宅を通り過ぎ、すぐ先の交差点を右折することにしました。

右折する際に、対向車線から来るバイクのヘッドライトが近くに見えたのですが、「自分の方が先に曲がれるだろう」と安易に考え、右折を強行しました。

右折を始めて、「まずい、間に合わない」と思った直後に「ドーン」という激しい衝突音と衝撃があり、フロントガラスの向こうへ被害者の方が飛んでいくのを見えました。

私は車から降り、被害者のもとへ駆け寄ると、原形を留めないほど壊れたバイクの先に被害者の方が、全く動かない状態で倒れていました。

その惨状を見た瞬間、私の頭の中は真っ白になりました。

直ぐに救急車を呼びましたが、警察が来るまでの間なすすべもなく、ただ茫然としていました。

私は警察に連行され取り調べを受けましたが、その際、私が右折した交差点は「右折禁止」であることを知らされました。

その後の取り調べで「被害者の方が亡くなった」と聞かされ愕然としました。

そして「これから自分はどうなるのだろう」という漠然とした不安から、何も考えられなくなりました。

事件後、私は御遺族の方と会うのが怖くなり、

謝罪等を全て家族に丸投げして責任を負わず、現実から逃避してしまいました。

同乗していた友人は無傷でしたが、家の前で起きた事件のため、ショックを受け引越しました。

被害者とその御遺族はもとより、自分の家族や親友など周りの人達を巻き込んだ大事件にも関わらず、私の行動は余りにも幼稚で、中身の無い謝罪文を一通送っただけでした。

そのため、御遺族の気持ちを踏みにじり、感情を逆撫でしてしまいました。

裁判では、過失運転致死罪で禁固1年4ヶ月の言い渡しを受けました。

公判でも御遺族は、最大限の刑罰を望んでいたのですが、この刑期は短過ぎて到底納得できるものではないと思います。

私は現在、市原刑務所で受刑生活を送っています。

受刑生活では自分の犯した罪と向き合い「事件の責任は全て自分にある」と思うようになりました。

これまでの私の運転は安全意識に欠けていました。それは物事を常に自分に都合良く考える、自己中心的な甘さによるものです。

今回の事件は、運悪く起こったものではなく、起こるべくして起こった事件だと思っています。

刑期が終わっても、私の罪が消える訳ではありません。償いに終わりはなく、生きている限り一生背負って行くものだと考えています。

未だに示談も済んでおらず、御遺族に対する正式な謝罪もできていませんが、今後は、どんな小さなルールでも守り、自分の甘さを克服したいと考えています。

そして被害者の未来を奪い、御遺族の人生を変えてしまった反省に立って、御遺族の期待に沿える償いを行いたいと思っています。

最後に皆さんにお願いしたいことは「車は便利な乗り物ですが、使い方を誤ると人を殺してしまう凶器に変わる」ということです。

そして、私のような悲惨な事件を起こす人がなくなることを切に願っています。

～(一財)東京都交通安全協会編集発行  
「贖いの日々(第58集)」から～

この人

217



(一社)高津交通安全協会  
会長

もちだ ともゆき  
持田 知介さん



高津交通安全協会は、昭和21年4月に現在の高津区、多摩区、宮前区及び麻生区をエリアとして設立されました。以降、分離独立が繰り返され、現在の高津区の区域が高津交通安全協会となりました。

交通安全協会とのかかわりは、平成19年5月、理事に就任したのが始まりで、その後、高津支部長、副会長を努め、令和元年6月からは会長として法人の健全な運営に努力しております。

高津区では、春・夏・秋と年末の交通事故防止運動等に加えて、市制記念花火大会、橘ふるさと祭りなど、高津区独自の行事や、地域からの交通整理依頼、更には大山街道をパレードする高津区民祭など、多くのイベントが毎年開催されています。そのために、協会役員は忙しい日々を過ごしています。

高津区は、区のほぼ中心でJR南武線と東急田園都市線が交わり、道路は国道409号線、尻手黒川線と国道246号線が交わる結節点となっているため、交通量の多い地区です。

高津区内の交通事故件数は年々減少しているものの自転車や二輪車、高齢者の事故が目立っています。

交通事故を少しでも減らすよう、交通安全キャンペーン、自動車教習所を借りての自転車教室、広報車による地域巡回広報などの各種事業を他の交通関係団体と協力して実施しております。

しかしながら昨今、会員の減少が顕著で、交通安全活動に支障を来しているため、新規会員確保、交通指導員の増強を図っていきたいと考えています。

取材協力：(一財)高津交通安全協会

こんにちは「保土ヶ谷交通安全協会」です

横浜市保土ヶ谷区は、横浜市の中央部に位置し、神奈川区、西区、南区、戸塚区、旭区、緑区と6つの区に隣接していて、保土ヶ谷区星川にあります「星川中央公園」内が、横浜市の中心点になるそうです。

保土ヶ谷区をパソコンで入力してみると、保土ヶ谷と小さいヶが表記されることがあります。古くから区内に住んでいた方は、保土ヶ谷と小さいヶを使っていたが、保土ヶ谷区のヶは、条例では大きいヶが使用されており、大きいヶが正しい表記になることから、平成21年頃から保土ヶ谷と大きなヶに統一する動きが始まりました。

保土ヶ谷は江戸時代には宿場町として、そして横浜開港後は近代水道や工業の中心地として栄えてきた歴史のある街です。保土ヶ谷区は、横浜市内で最初の区として昭和2年に鶴見区、神奈川区、中区、磯子区とともに誕生した街で、令和9年に100周年を迎えることとなります。地形は、箱根駅伝でも有名な花の2区の難所と言われている「権太坂」もあり、起伏に富んだ地形で坂道が多い

街です。権太坂は、旅人が耳の遠い老人に坂の名を尋ねたところ、自分の名を聞かれたと思った老人が、「権太」と答えたのが名前の由来とされているという説があります。

保土ヶ谷区は、山坂が多いことからバイク使用者が多いのか、バイク事故の発生割合が県下で上位を占めている状況です。その様な現状を踏まえ、各季運動期間中の風物詩となっている警察署玄関前に飾る「交通安全提灯」の下、板橋会長以下、ボランティアの皆様と一丸となって交通事故防止に取り組んでまいります。(八木 記)



## 地区交通安全協会の活動紹介

交通安全活動



**戸部** 横浜美術館前において(株)いすゞ自動車と戸部署のコラボによる交通安全フェスタを実施



**秦野市** 秦野市役所において市長へ「ABCファイル」「交通安全冊子」等を寄贈



**津久井** 古賀相模湖支部長から新一年生に「ABCファイル」「ランドセルカバー」を寄贈

**厚木警察署管内** 依知北支部、川崎支部長から管内の小学校に「ABCファイル」等を寄贈



依知小学校 田所校長



上依知小学校 武校長



北小学校 松下校長



**横須賀** 横須賀ドライビングスクールにおける二輪車安全運転講習会の実施



**都筑** 加藤会長から区内の全小学校に「ABCファイル」等を寄贈



**海老名市** 清水会長から海老名市立東柏ヶ谷小学校校長先生へ「ABCファイル」を寄贈

### 賛助会員の紹介

このコーナーでは(公財)神奈川県交通安全協会の交通安全活動に賛同し、賛助会員としてご協力をいただいている企業等を順次ご紹介しています(敬称略)。

- 株式会社 ダイイチ \_\_\_\_\_ 横浜市中区
- 株式会社 神奈川ユニホーム \_\_\_\_\_ 横浜市港北区
- 株式会社 ナップス \_\_\_\_\_ 横浜市中区

### 賛助会員入会のお願い

公益財団法人神奈川県交通安全協会では、交通事故のない安全で安心な交通社会を実現するため様々な交通安全事業を行っております。交通事故防止活動に賛同していただける「賛助会員」としての入会をお願いいたします。

### インフォメーション

- 二輪車交通事故防止・暴走族追放強化月間 \_\_\_\_\_ 6月中
- かながわバイクリカレントスクール \_\_\_\_\_ 6月8日(土)運転免許センター
- 神奈川県子ども自転車大会チーム責任者会議 \_\_\_\_\_ 6月19日(水)県協会会館
- 第15回評議員会・第44回理事会 \_\_\_\_\_ 6月20日(木)県協会会館
- 子ども自転車神奈川県大会 \_\_\_\_\_ 6月22日(土)寒川総合体育館
- 地区事務長会議 \_\_\_\_\_ 6月28日(金)県協会会館
- セーフティライダーズスクール \_\_\_\_\_ 6月29日(土)運転免許センター